

検察庁ではどんな仕事をしているの？

— 元検察事務官に聞く —

法曹三者の一つ、検察庁は弁護士業務とも関わりが多いです。検察庁ではどのような業務をしているのか、検察官の地位や役割は？検察事務官とは？そのほかに検察庁で働いている人は？・・・関わりがあるのに案外知らないことが多いのも検察庁かもしれません。そこで、今回は検察事務官として仕事をしていた方に検察庁のことを教えてもらうことにしました。今回も会場とオンライン受講のハイブリッドですが、講義終了後に懇親会で講師と交流するほか、会場参加の方には講師が個人事業で焙煎するコーヒー豆の予約販売も予定しています（なお今回はYouTube配信は行いません）。講義終了後に質疑応答を予定していますが、この機会に聞いてみたいということがあれば申込書に書いてください。多くの皆様のご参加お待ちしております。



と き 2月15日（土）13時半開会（16時半ごろ終了予定）

と ころ 大阪弁護士会館11階1110号室

（オンライン受講も可能です）

参加費 1500円（JALAP会員は無料）

（別紙参加申込書に必要事項ご記入のうえ、2月5日までにお申し込みください。なおコーヒー豆ご希望の方は準備の都合上1月27日までに参加申込書を送ってください。



JALAPに会員登録されていない方には参加費振込口座をお知らせしますのでご送金ください。恐れ入りますが振込手数料はご負担願います）

問合せ先：06-6857-3900 橋本

JALAPが新しくなりました

日本弁護士補助職協会の略称です。2013年に日弁連能力認定試験合格者を中心に有志の弁護士と共同で、事務職員がさらに能力を伸ばし、充実した仕事ができるようサポートすることを目的に発足した法律事務員の全国組織です。

昨年6月から日弁連能力認定試験の可否や受験の有無にかかわらず、法律事務職員であればだれでも会員に登録できるようにするとともに、事務所単位で登録する団体会員制度ももうけ、セミナーの無料化など会員サービスの充実を図っています。

これまで合格者会員登録をしていた方も、していなかった方もこの機会にぜひ会員登録してください。

会員登録手続き、会費、会員サービスなどについては、下記ホームページをダウンロードしてください。

<https://jalap.jp>